

## 「小児急性骨髄性白血病の新規予後因子の探索」

### 研究へのご協力をお願い

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻では、病気の診断や治療の向上を目指して、下記の研究を行っています。本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。ご理解、ご協力の程お願いいたします。

#### 1. 研究計画名

小児急性骨髄性白血病の新規予後因子の探索

#### 2. 研究の意義・目的

この研究では、急性骨髄性白血病を対象とし、白血病細胞と正常な細胞とで遺伝子の構造や量がどのように違うのかを、過去に採取された血液や骨髄液、それらの標本、口腔粘膜の細胞などから抽出された遺伝子を用いて調べます。その結果得られた遺伝子の変化と、治療経過などを照合することで、予後(治りやすさ、治りにくさ)と関連する遺伝子を探索します。将来的にはこの研究結果をもとに、治りにくい患者さんには造血幹細胞移植などによる治療強化による治療成績の改善を、治りやすい患者さんには、治療軽減による合併症、副作用の軽減を目指しています。

#### 3. 研究期間

許可日から 2028 年 3 月 31 日までです。

#### 4. 研究の方法

研究対象は、日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG)、日本小児がん研究グループ (JCCG) による AML に関連する臨床試験：AML-99、AML-05、AML-12、AML-R11、AML-R15、AML-P13、AML-D16、AML-20、CHM-14、AML-D05、AML-D11 臨床試験に登録された AML 症例のうち、試料保存と研究利用に患者さん本人または代諾者の方より同意の得られた症例です。JPLSG/JCCG 参加施設にて採取された、もしくは保存されている血液や骨髄液、頬粘膜由来の細胞や DNA、RNA を使用し、遺伝子解析を行います。その結果と治療経過などを照合し、機械学習手法を含めた解析を行い、予後と関連する遺伝子の変化を探索します。

#### 5. 使用する試料



において適切に審査しています。

### 11. 研究に関する資料の開示・研究利用の拒否

下記の問い合わせ先にご連絡いただくことで、この研究の計画書および研究の方法に関する資料を入手閲覧できます。（ただし、他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）また、この研究にご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、対象になられた患者さんの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。

### 12. 利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

### 13. 問い合わせ先

<連絡先>

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

松尾英将（研究責任者）

(Tel) 075-751-4155 (E-mail) matsuo@kuhp.kyoto-u.ac.jp

<相談窓口>

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp